

リンゴの枝使いはんこ

高梁の障害
福祉事業所

岡山で8種類販売

る。問い合わせは望の 866⑧3080。
丘ワークセンター(0 (中原由華)

自然素材のはんこは「anko」。長さ約6 (岡山市北区祇園)の
いかが。社会福祉法 規、直径約2規で、「あ
利用者らがレーザー加工
人・旭川荘が運営する りがとう」「おつかれ
を駆使して仕上げた。

障害福祉サービス事業 さま」「すばらしい」
同センターは200
所「望の丘ワークセン 「Nice!」など
1年以降、旧川上町か
ター」(高梁市川上町 刻印した8種類を用意
ら移譲された農園で約
400本のリンゴを栽

上大竹)は、施設内で した。
栽培するリンゴの枝を 同センターの利用者
培。「廃材の枝を有効
材料にしたはんこを作 約20人が共同で制作。
活用できる」との話を
り、販売を始めた。皮 乾燥させた枝を商品の
研究者から聞き、昨年
ごと活用しており、「木 サイズに切ってやすり
から本格的な商品制作
のぬくもりを味わっ がけした。文字は、系
に取り組んだ。

商品名は「りんご h 「吉備ワークホーム」
岡山市のデザイン会
社が手掛け、「りんご
hanko」ができる
までの過程を描いた
絵本とセットで180
0円。イオンモール岡
山(同市北区下石井)
の特産品ショップ「ハ
レマチ特区365」
で販売している。字体
や大きさを指定したほ
んこの注文にも応じ
る。



リンゴの枝を材料にして作られた「りんご hanko」

同センターは「利用
者が一点一点丹精込
めて作っている。木の
素朴な味わいも感じ
てほしい」と話してい

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。